

周波数ひっ迫対策のための国際標準化連絡調整事務 平成22年度 事前評価結果

案件名	実施期間	主な評価コメント	評価
ミリ波・サブミリ波帯等における無線通信技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H22～24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界標準への我が国の優位性を示そうとするもので有用である。</li> <li>・具体的な標準化に日本提案を採択されることは重要であるが、そのために議長ポスト等の獲得に関する支援も重要。</li> <li>・ITU-R標準化に近い、将来必要度の高い部分にウェイトをおいて、国際的リーダーシップが確実にとれるように進めるべき。</li> </ul>	3.9
Cospas-SarsatへのPLBビーコン制御技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H22～25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人用捜索救助は、大変必要な技術である。人命救助のため、国際標準化の実現が望まれる。</li> <li>・GMDSSに対する国際協調と我が国の貢献の観点から、極めて重要なテーマと評価でき、費用対効果が期待される。</li> <li>・我が国の技術を取り入れた双方向PLBを国際標準化に反映させようとするもので、その意義は大きいと考える。</li> </ul>	4.4